

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

1.2023年3月期 第1四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 地域別売上高

2.株主還元

3.トピックス

4.通期業績予想

1.2023年3月期 第1四半期決算

1) 決算ハイライト

2023年3月期 第1四半期 連結業績

受注高



7,776百万円

前年同期比 42.2%増



売上高



4,866百万円

前年同期比 11.7%増



受注高は、脱炭素関連として、燃料電池評価試験装置や水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要拡大により大幅に増加。

売上高は、当社顧客（製造業）の設備投資の回復基調継続、脱炭素関連の設備投資拡大により増収。

<利益面>

営業利益



142百万円

前年同期比 113.9%増



経常利益



305百万円

前年同期比 76.9%増



四半期純利益（親会社株主に帰属）



191百万円

前年同期比 324.5%増



利益は、計装システムの増収・原価率の低減等を主因とし各項目とも増益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2021 1Q	FY2022 1Q	対前期増減額	対前期増減率
受注高	5,468	7,776	2,308	42.2%

	FY2021 1Q	FY2022 1Q	対前期増減額	対前期増減率
売上高	4,358	4,866	508	11.7%
売上総利益 <利益率>	1,363 (31.3%)	1,482 (30.5%)	119 (▲0.8p)	8.8%
営業利益 <利益率>	66 (1.5%)	142 (2.9%)	75 (1.4p)	113.9%
経常利益 <利益率>	172 (4.0%)	305 (6.3%)	132 (2.3p)	76.9%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	45 (1.0%)	191 (3.9%)	146 (2.9p)	324.5%

2) 業績サマリー (2)

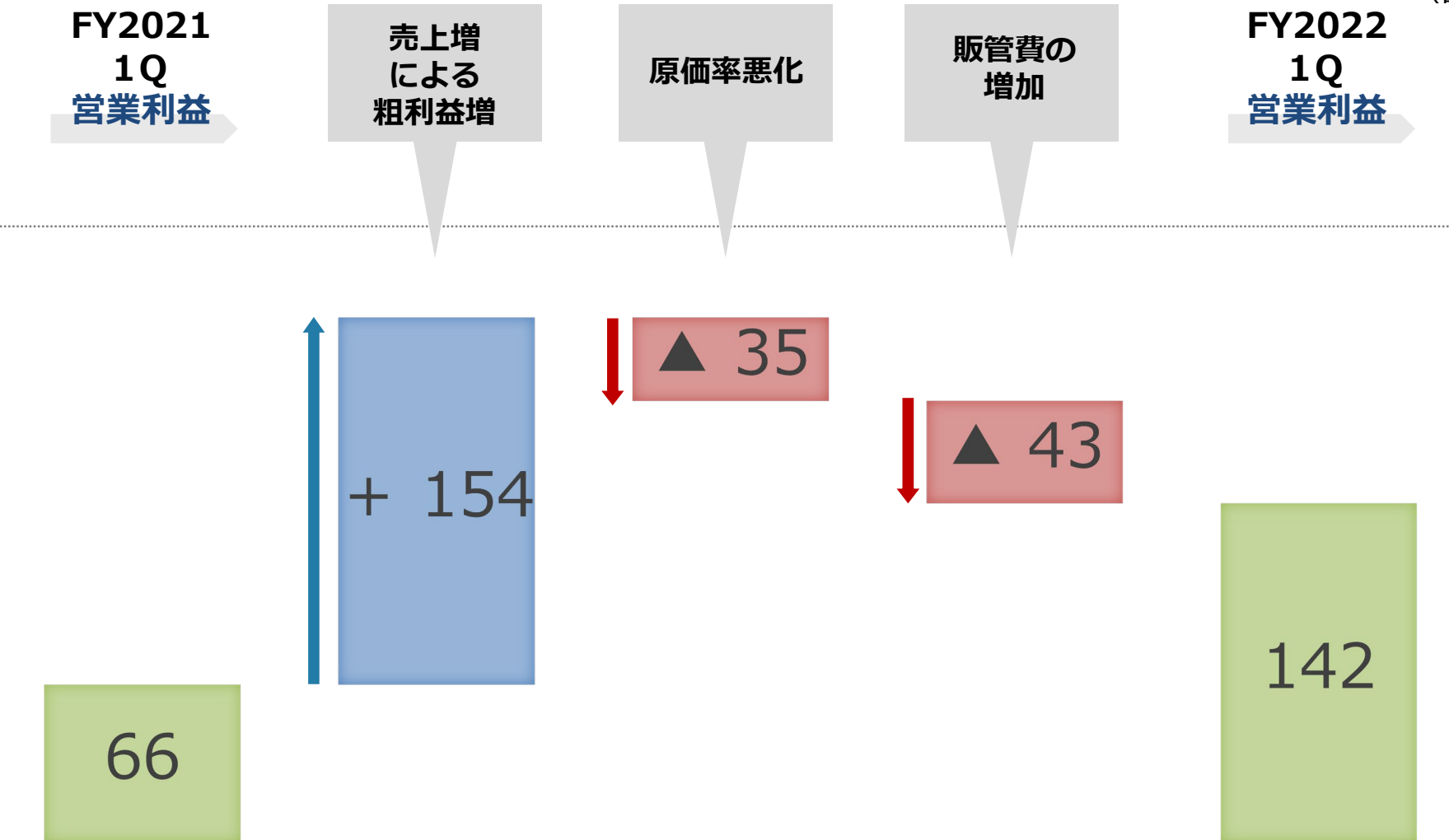
◇セグメント別業績

(百万円)

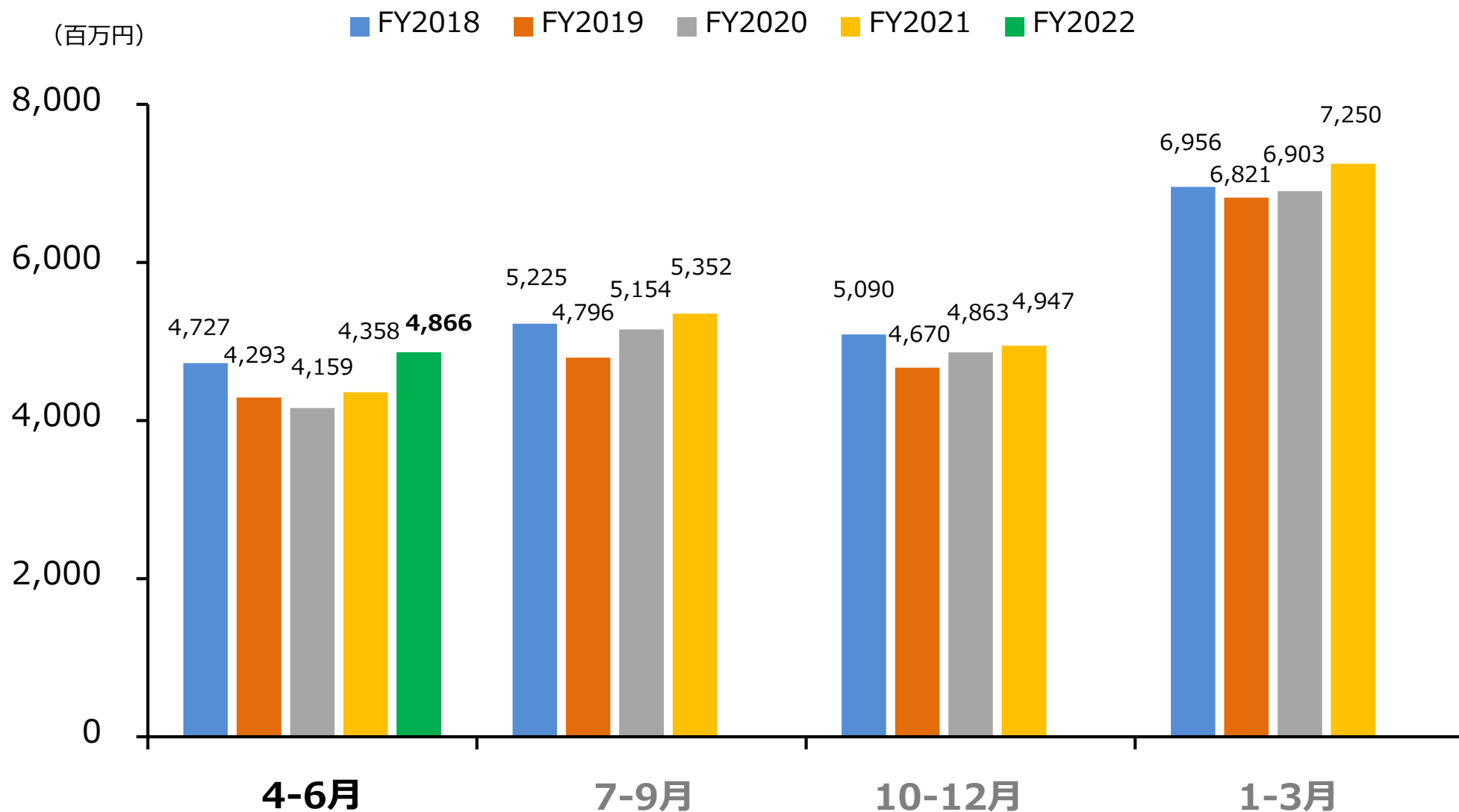
	受注高				売上高				セグメント利益			
	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	1,832	2,101	269	14.7	1,723	1,754	31	1.8	143	167	23	16.4
計装システム	1,848	3,675	1,826	98.8	943	1,394	451	47.8	24	156	131	529.5
センサ	1,611	1,841	230	14.3	1,515	1,541	26	1.8	261	181	▲ 79	▲ 30.6
その他	175	158	▲ 16	▲ 9.7	175	175	▲ 0	▲ 0.1	19	7	▲ 12	▲ 63.6
全社費用									▲ 382	▲ 369	13	—
合計	5,468	7,776	2,308	42.2	4,358	4,866	508	11.7	66	142	75	113.9

3) 営業利益増減分析

(百万円)



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

1,754百万円 前年同期比 1.8%増



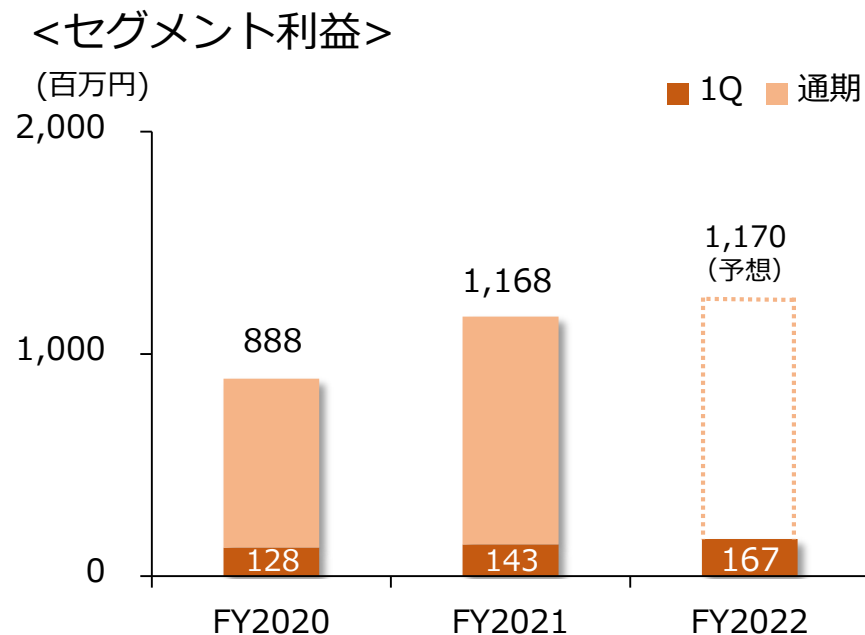
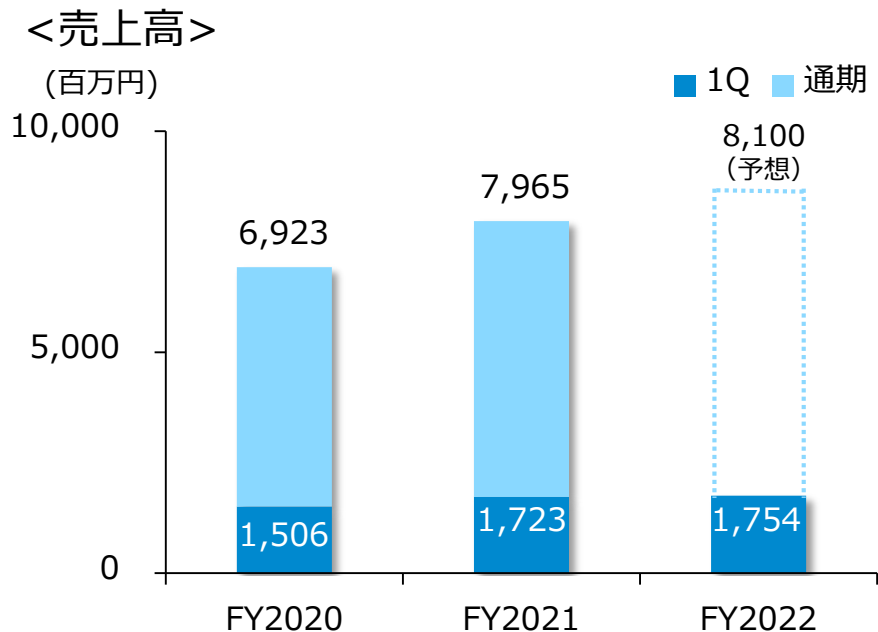
セグメント利益

167百万円 前年同期比 16.4%増



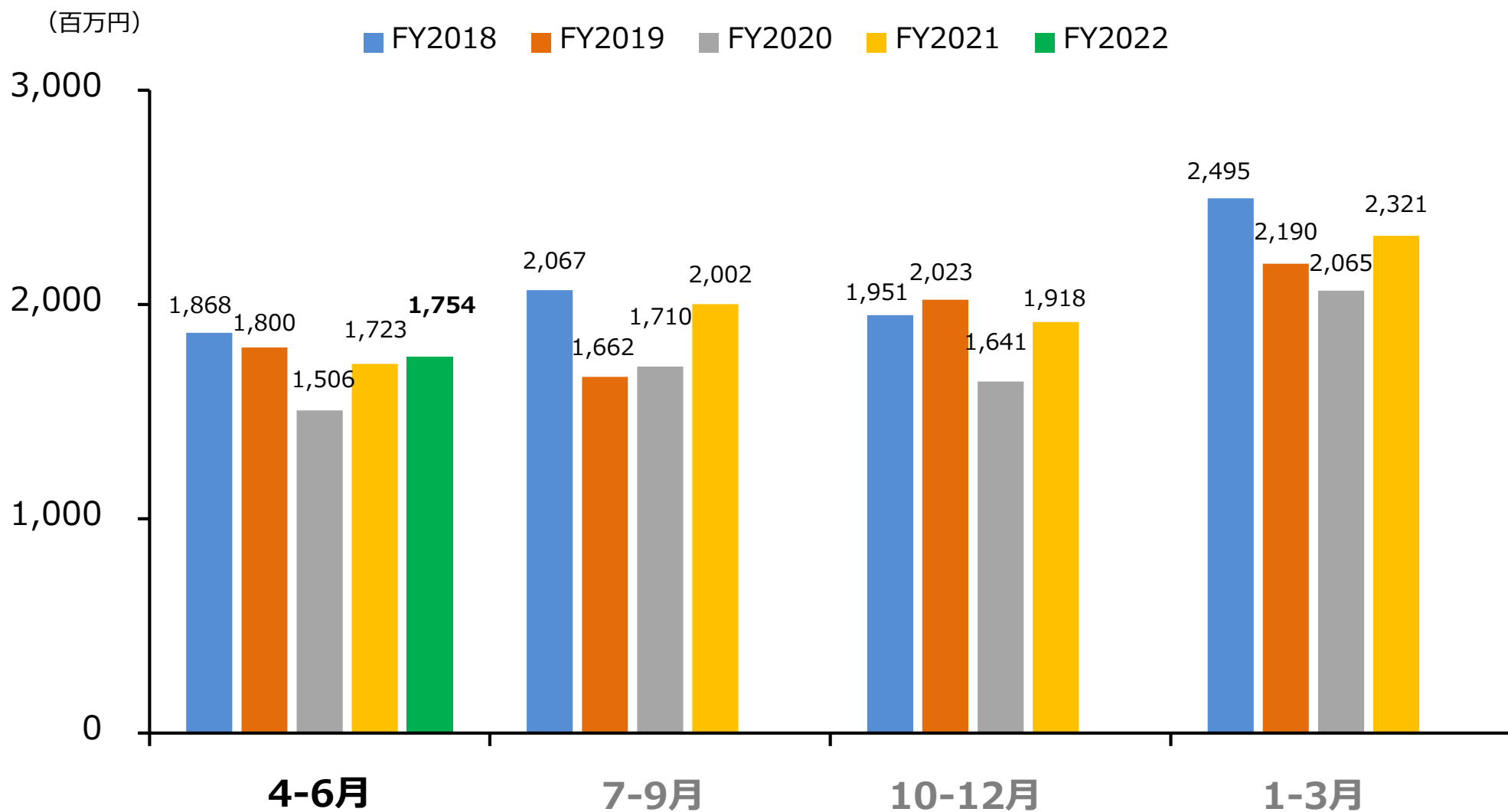
製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場（特に中国、韓国、インド等）の需要が伸長
- 一方で、半導体など部材の供給不足、中国の都市封鎖によるサプライチェーン混乱の影響による生産減により売上高は微増



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高

1,394百万円 前年同期比 47.8%増



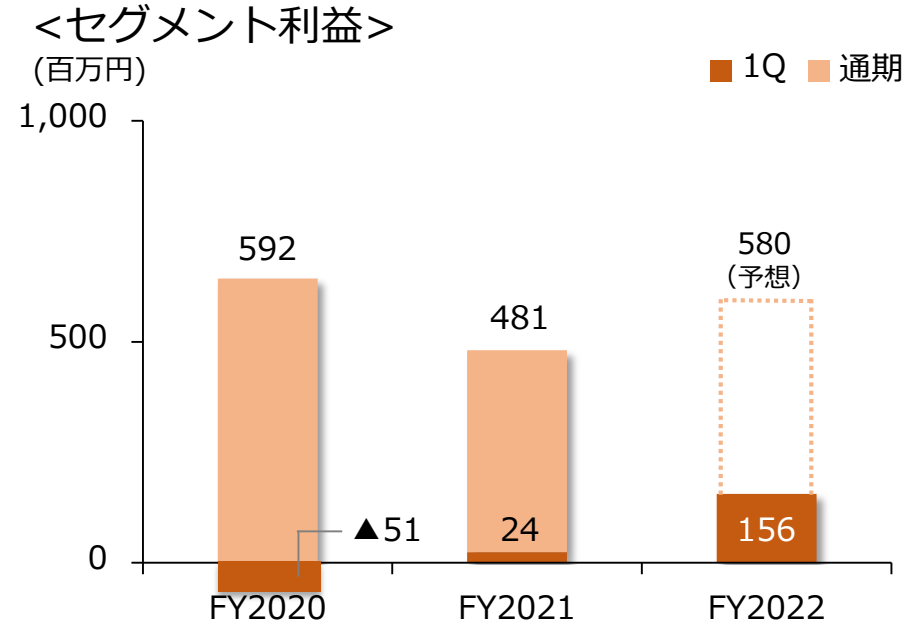
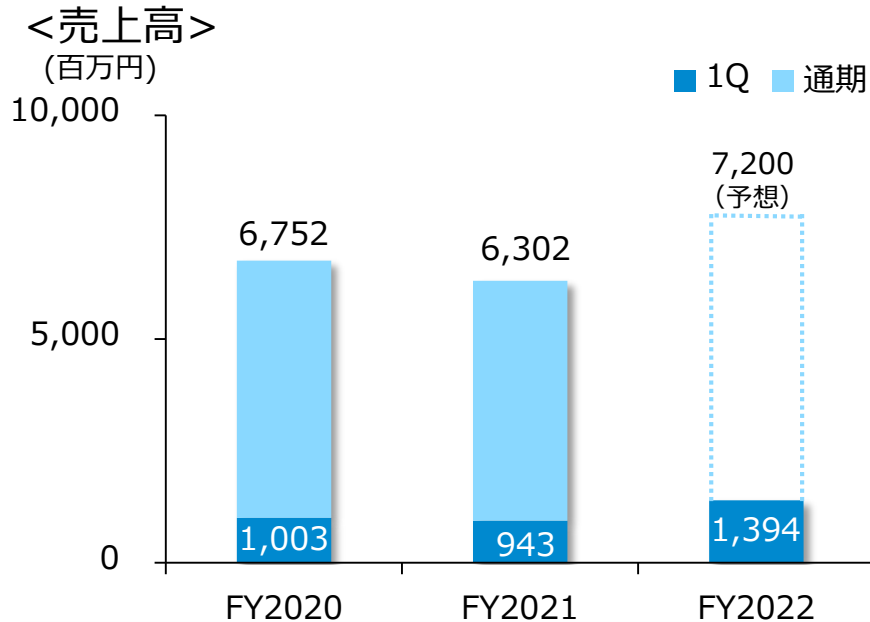
セグメント利益

156百万円 前年同期比 529.5%増

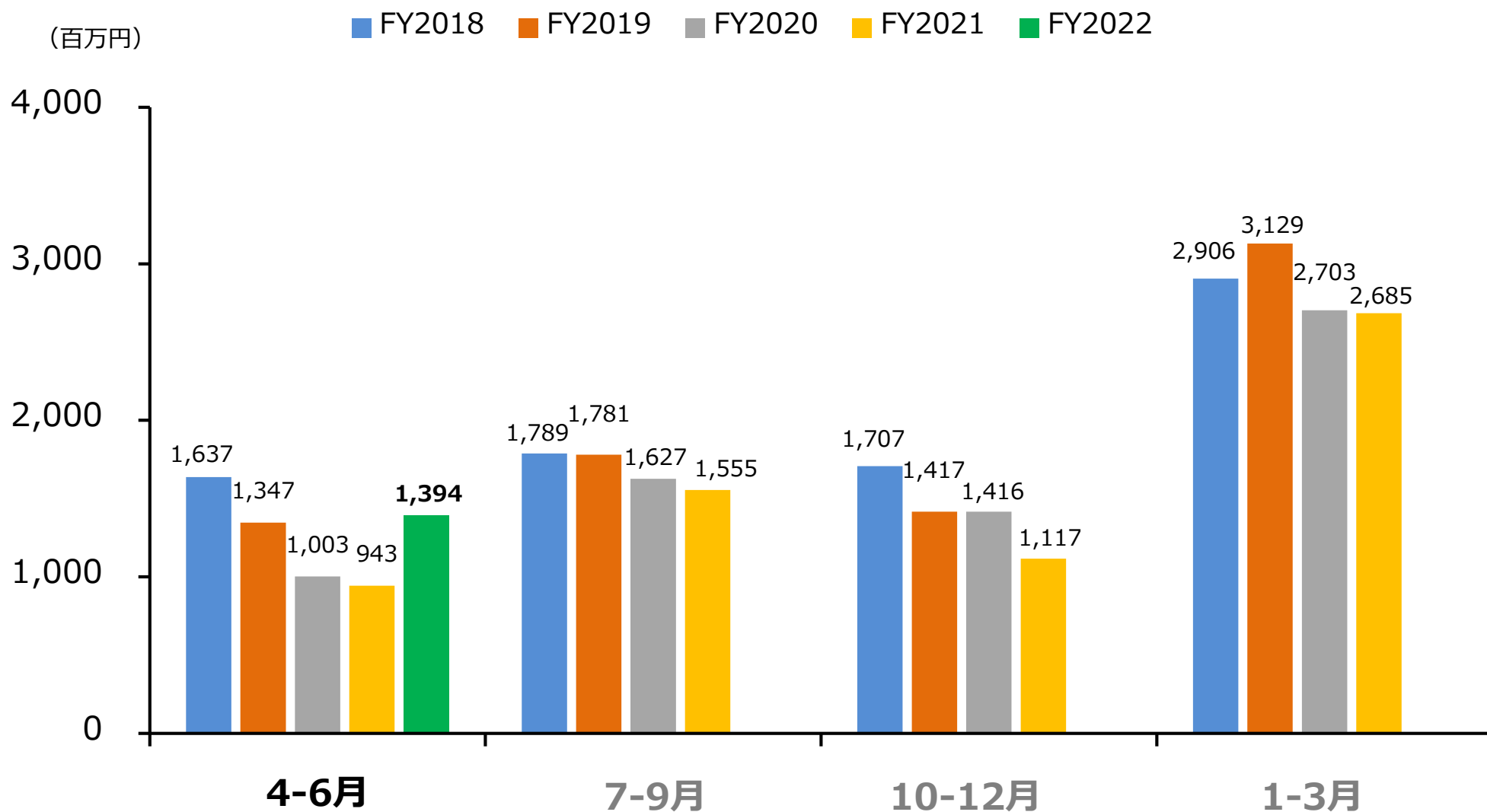


製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大
- 電子部品関連の製造装置向けのシステム、コンプレッサー評価試験装置は、売上高が順調
- 増収・原価率の低減等を主因とし増益



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高

1,541百万円 前年同期比 1.8%増



セグメント利益

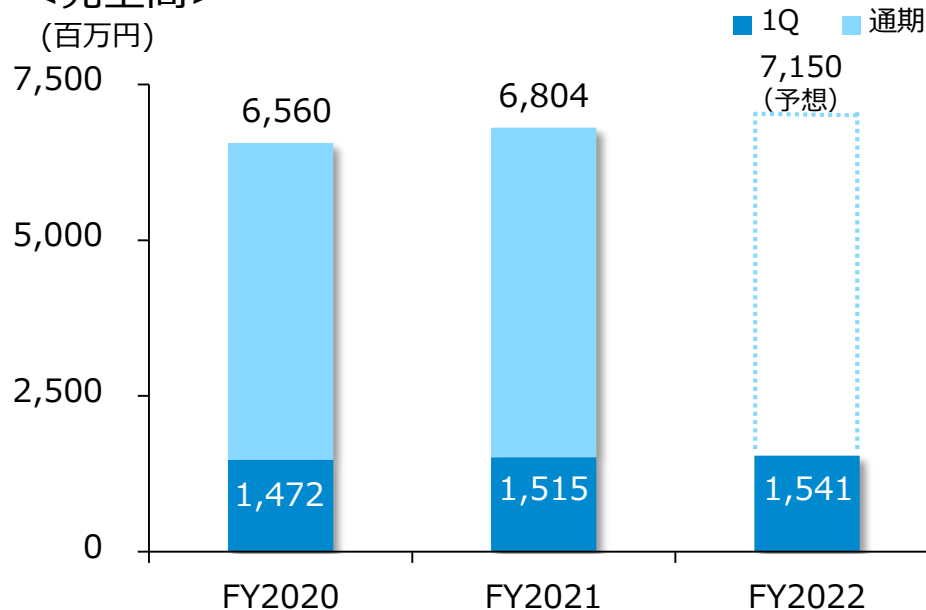
181百万円 前年同期比 30.6%減



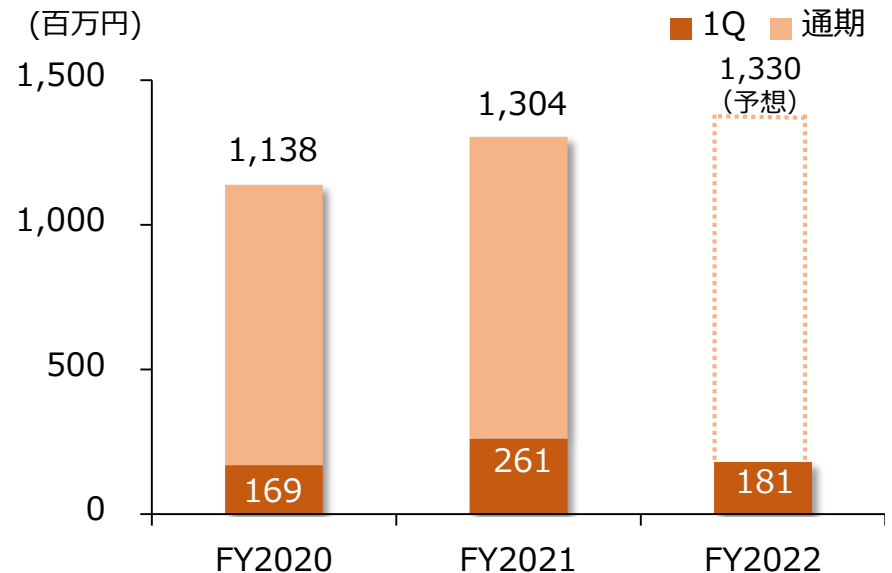
製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調 ※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 部材価格の高騰の影響等により減益

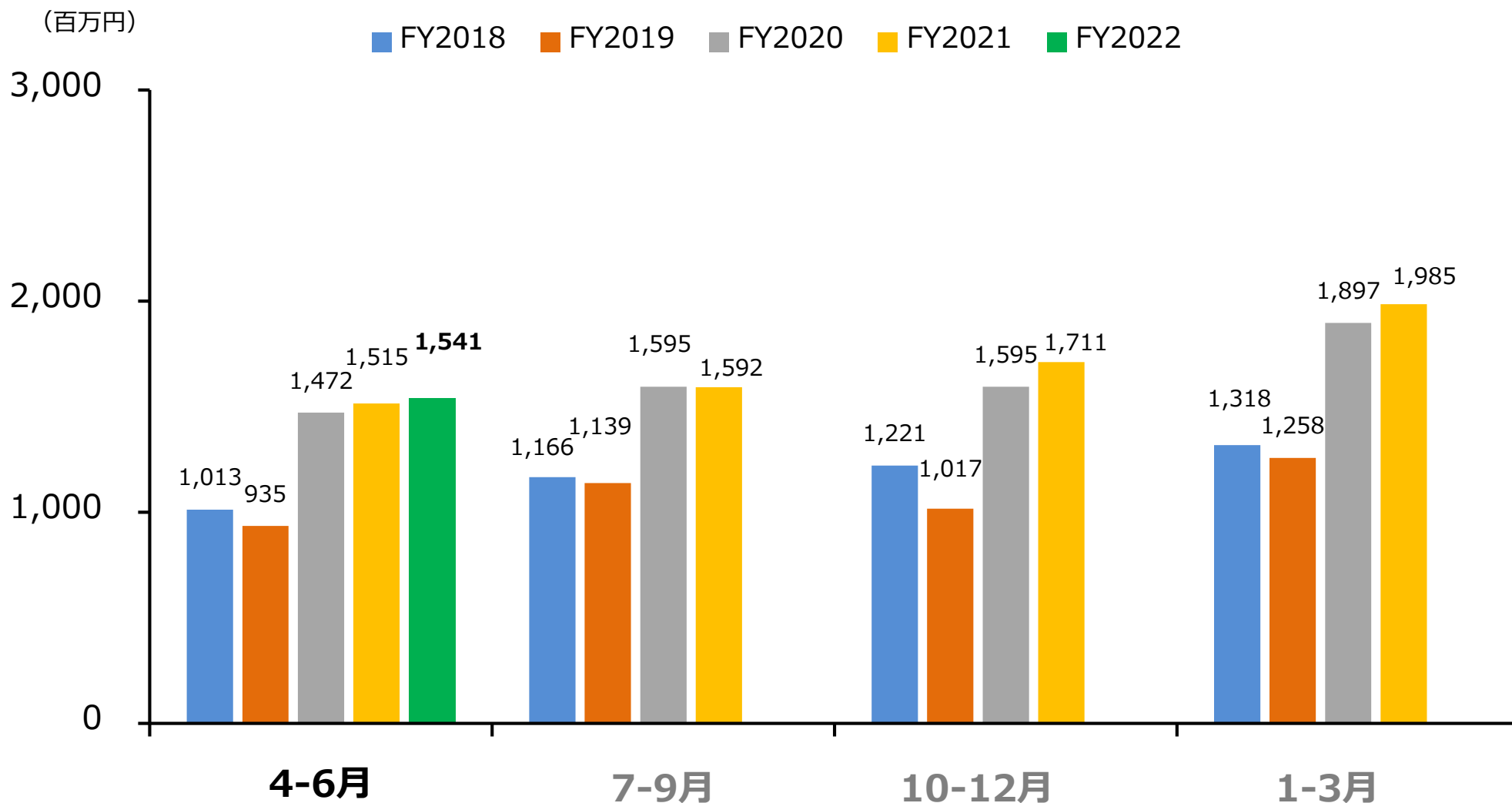
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 現預金・棚卸資産が増加する一方で、固定資産の減少により、前期末比185百万円の減少
- 負債 長期借入金の減少等により固定負債は91百万円減少したが、流動負債が111百万円増加したことにより、負債合計は前期末比19百万円の増加
- 純資産 配当金支払による株主資本の減少を主因とし、前期末比では205百万円の減少

(百万円)

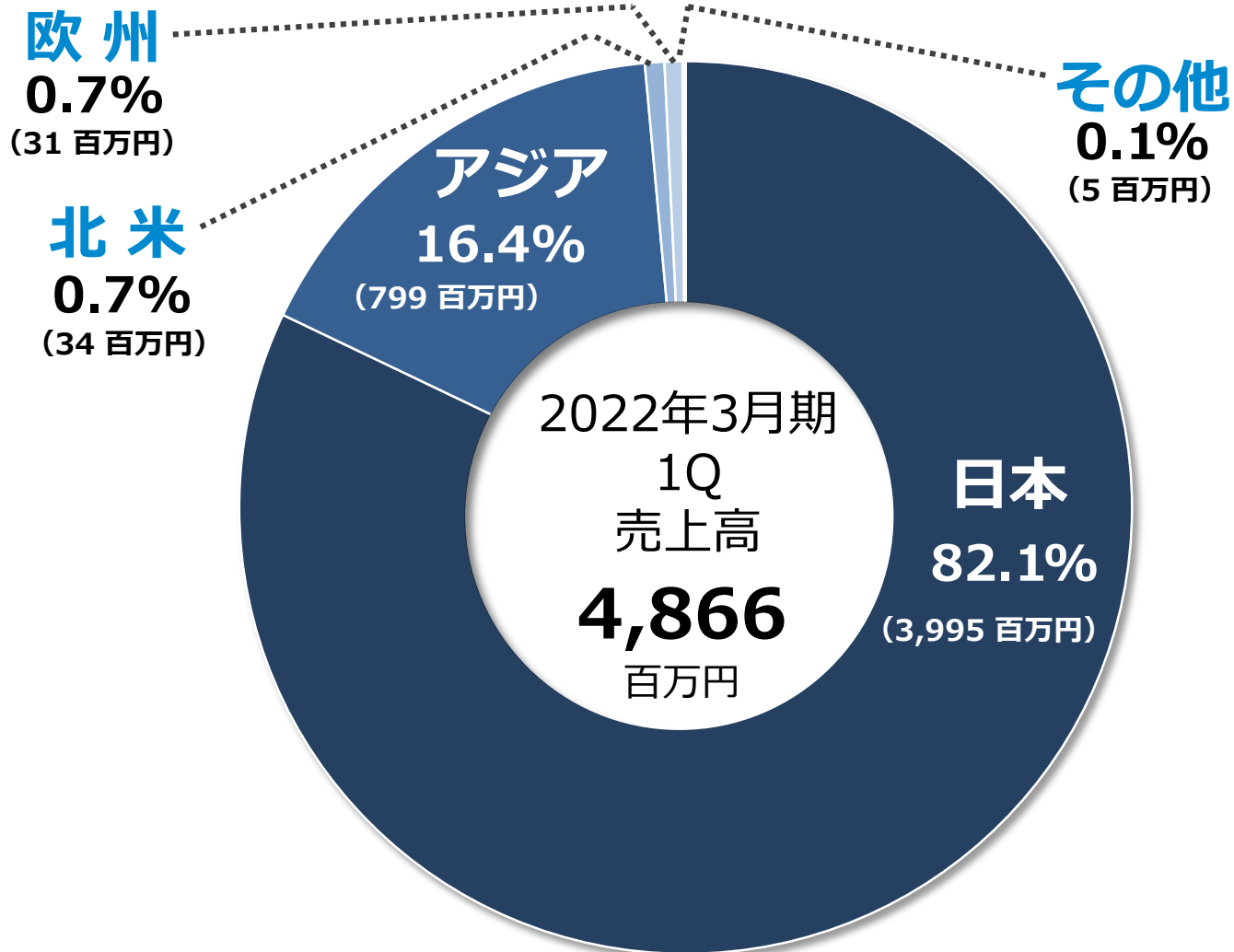
科目	2022年3月末	2022年6月末	増減
流動資産	21,681	21,691	10
現預金	7,331	7,392	60
売上債権	7,595	6,678	▲ 916
棚卸資産	6,578	7,308	730
その他	175	311	136
固定資産	9,864	9,668	▲ 196
有形固定資産	5,566	5,491	▲ 75
無形固定資産	408	415	6
投資その他の資産	3,889	3,761	▲ 127
資産合計	31,545	31,359	▲ 185

科目	2022年3月末	2022年6月末	増減
流動負債	8,216	8,328	111
仕入債務	4,511	4,439	▲ 71
短期借入金	1,640	1,639	0
その他	2,064	2,248	183
固定負債	3,177	3,086	▲ 91
長期借入金	620	531	▲ 88
その他	2,557	2,554	▲ 3
純資産	20,150	19,945	▲ 205
株主資本	17,308	17,107	▲ 201
その他の包括利益累計額	255	215	▲ 40
非支配株主持分	2,586	2,622	36
負債純資産合計	31,545	31,359	▲ 185

自己資本比率：2022年6月末 55.2%、2022年3月末 55.7%

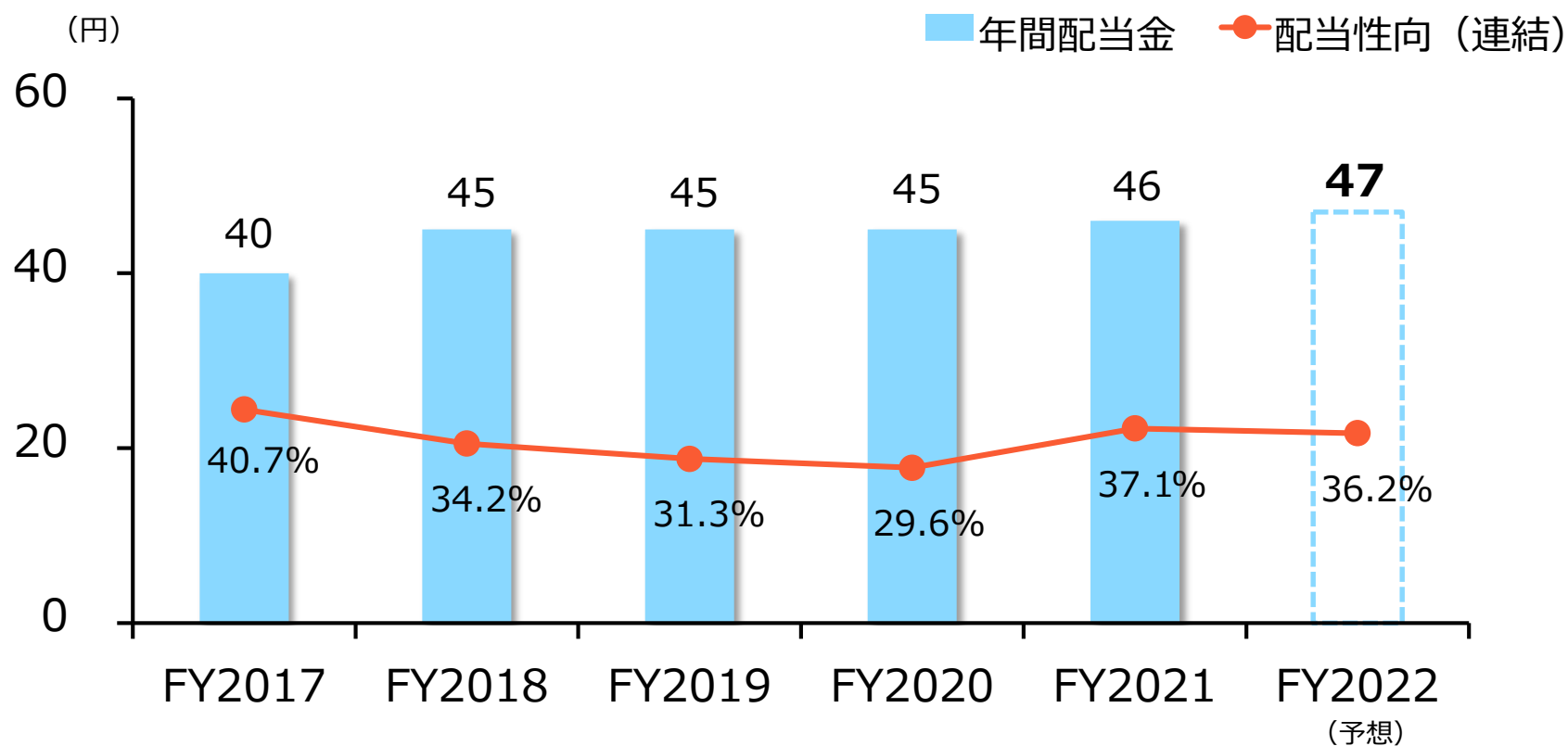
7) 地域別売上高

- 海外売上高は、アジア地域(主に中国) で前年同期比125百万円の増収



2. 株主還元

- FY2022の1株当たり配当金（予想）は前期より1円増配の47円。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円（100,000株）実施。（2017年7月に自己株式の消却を300,000株実施）



3. トピックス

機関投資家・アナリスト等の方々を対象に2021年度決算説明会を開催

機関投資家向け決算説明会を2022年6月14日（火）に東京駅グラントウキョウノースタワー18Fにて開催しました。会場参加とWeb（音声ライブ配信）併用のハイブリッド型で実施しました。

主な説明内容は下記の通りです。

[説明内容]

- ①2021年度決算の概要
- ②新中期経営計画（2021年度～2026年度）
初年度の進捗状況
- ③脱炭素社会の実現に向けた当社の取組み

当社の取組み・技術力を投資家の方々にご理解いただき建設的な対話を行うことを通じて、企業価値の向上に努めてまいります。

※ 説明会の内容につきましては、当日の動画・資料が、当社ホームページ（IR情報－決算説明会）に掲載されております。



4.通期業績予想

通期業績予想（2022年5月13日発表から変更なし）

- 半導体をはじめとする部材の供給不足は継続しているものの、顧客（製造業）の設備投資の回復基調は継続し、脱炭素社会に向けての水素関連分野の需要は今後も継続が見込まれるため、2022年度の通期業績予想（2022年5月13日公表）は変更してありません。

（百万円）

項 目	FY2022 業績予想 (2022年5月13日発表)	FY2021 実績	差異	増減比 (%)
売上高	23,300	21,908	1,392	6.3
営業利益	1,550	1,499	51	3.4
経常利益	1,800	1,744	56	3.2
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,100	1,050	50	4.7

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO